

令和5年度伊達市事務事業評価シート

1 事務事業について

事務事業名 (予算書上事業名)	06	地域子育て支援拠点管理運営事業 (地域子育て支援拠点施設運営管理委託料)				作成日	令和5年8月10日	
基本目標	02	豊かな心と人を育むまちづくり				所管部署	健康福祉 部	
分野別施策	01	子どもの教育と保育					子育て支援 課	
必要な取組	01	子育て支援体制の充実				事業開始年度	H13	
補助/単独	補助	経費区分	政策	新規/継続	継続	重点施策	育み	事業終了(予定)年度
会計区分	01	一般会計			SDGs の取組	①	03	すべての人に健康と福祉を
款	03	民生費				②		
項	02	児童福祉費				③		
予算科目	目	02 保育所費			個別計画・根拠法令	児童福祉法		
対象	伊達市民(妊婦~子育て世帯)				目的	子育て支援の充実を図り、子どもと家庭を伊達市全体で支える。		
概要	子育て支援拠点施設(子育て支援センター)を設置し、未就学児の遊び場提供や交流活動、育児相談事業等を実施する。							

2 投入経費の実績と計画

単位: 千円

投入経費	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	(決算額)	(決算額)	(決算額)	(予算額)	(計画値)	(計画値)
直接事業費(A)	15,650	16,524	16,800	17,245	17,245	17,245
国・道支出金	10,432	11,016	11,200	11,496	11,496	11,496
地方債						
その他						
一般財源	5,218	5,508	5,600	5,749	5,749	5,749
最終予算額(補正予算を含む)	15,650	16,534	16,867	17,245		
執行率	100.0%	99.9%	99.6%	100.0%		
参考人件費(B)	565	572	572	594	594	594
うち一般職員	565	572	572	594	594	594
投入人員[人]	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
うち会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0
投入人員[人]	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
投入経費合計(C=A+B)	16,215	17,096	17,372	17,839	17,839	17,839
人件費比率(D=B/C)	3.5%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%

3 事務事業に対する指標の実績値と目標値

活動指標(アウトプット) 【事業の実施結果】	単位	R2	R3	R4	R4	R5	R6	R7
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
① 子育て支援センター開放回数(3か所)	回	346	296	370	368	370	370	370
② えがお遊園地開催日数	日	0	0	9	5	10	10	10
③								
指標の設定根拠 (指標の算式)	①	(月)~(金)毎日、3施設いずれかが開所しているよう設定						
	②	年2回/5日間ずつ開催するよう設定						
	③							
成果指標(アウトカム) 【事業実施によって得られた効果】	単位	R2	R3	R4	R4	R5	R6	R7
		実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	目標値
① 子育て支援センター開放利用者数(3か所)	人	7,486	6,280	7,500	7,456	7,500	7,500	7,500
② えがお遊園地利用者数	人	0	0	1,100	1,091	1,100	1,100	1,100
③								
指標の設定根拠 (指標の算式)	①	過去の実績値をもとに平均値を算出						
	②	子ども550人、大人550人で算出						
	③							

4 所管課による観点別評価(一次評価)

観点	評価	評価の理由
妥当性	3	支援センターの設置にあたっては、子育て支援の充実を図り子どもと家庭を伊達市全体で支えるため、児童福祉法により市が主体となって取り組むことが求められていること、また、総合計画の重点施策である子育て支援体制の充実に対しても寄与していることから、市関与の姿勢は妥当である。 運営は市内民間業者へ委託している点についても、より円滑に運営するため適切であると考え。 3:妥当である 2:検討の余地がある 1:改善が必要
有効性	3	総合計画の施策0201「子どもの教育と保育」にある、「子育て支援体制の充実」のためには、子育て家庭の孤立化等の課題解決の場となる支援センターの存在は重要不可欠であり、計画に大きく寄与していると考え。新型コロナウイルスの関係で目標値に達成していない年はあるものの、コロナの影響を受けなければ目標は達成している。実施事業の「えがお遊園地」は近隣自治体では行っていない点や、毎回好評であることがアンケート結果からわかっている。 3:単年度及び中長期の目標値を達成可能 2:単年度のみ達成 1:達成できない
効率性	3	保育所を運営している委託業者は、子育て家庭に寄り添った多角的な運営を行っており、子育て事情やニーズを理解し、保育所等との連携も取れていることから運営事業者として選定は適正である。 経費は国・道・市において1/3ずつの負担割合と定められているため、市負担分についても適正である。 3:適正である 2:検討の余地がある 1:改善が必要

5 所管課による事業の方向性評価（一次評価）

【成果・コストからみる事業の方向性】

成果	拡充	維持	縮小	休廃止	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コスト	拡大	維持	縮小	皆減	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

所管課による 事業の方向性評価	B
--------------------	----------

【事業の方向性評価の基準】

A【拡充】	成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡充・充実すべきもの
B【維持】	事業の対象・目標・内容等が適切で、事業の実施を維持すべきもの
C【要改善】	事業の対象・目標・内容等が適切でなく、見直し(縮小)の必要があるもの
D【完了または廃止】	事業完了または事業の廃止を検討するもの

事業の方向性評価の理由

支援センターは、未就学児を持つ親にとって重要な存在となっていることや、各支援センターで行っている事業は、アンケート結果からもわかるように、一定の効果があることがわかる。以上のことから、今後も同様の事業を実施すべきと考える。

【事業の課題、改善策】

事業の課題やそれに対する具体的な改善策（次年度予算による取組、コスト削減方法 等）

課題	前年度（R4）の事業実施の中で表れた課題	
	支援センターの存在・活動について認知度が低く、「知らない」方たちがいる。	
改善策	課題に対する今年度（R5）の改善策	課題に対する次年度（R6）以降の改善策
	出生時や転入時等の利用案内の配布、SNSの活用を継続していき、当課の窓口における手続等での情報提供を積極的に行っていく。	R5に行う情報発信を引き続き行っていくとともに、少しでも目に留め、情報を拾ってもらえるような発信方法を、委託事業者と検討を重ねていく。
効果等	改善により見込まれる効果、負担を求める場合の住民に対するフォロー	
	情報周知に力を入れることで足を運ぶ方が増え、子育て家庭の孤立化や、子育てに対する不安感・負担感を少しでも減らし、安心して気軽に行くことができる場所を提供する。	
実施結果	今年度の改善策の実施結果	次年度(R6)以降の事業実施に向けた改善策の見直し
	当課窓口での利用案内の配付やポスターの設置、SNSの周知などに努めた。イベントによっては市外の参加者も増加した。	一部の利用者への偏った周知方法にならないよう、引き続き多くの人に周知できる方法を委託事業者と検討を行っている。

【事業の方向性評価の目安】

事業の方向性	拡充			A,B	A	A,C
	維持			B,C	B	C
	縮小			B,C	C	C,D
	休廃止		D			
	完了	D				
		完了	皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

6 事務事業評価会議による二次評価と今後の方向性

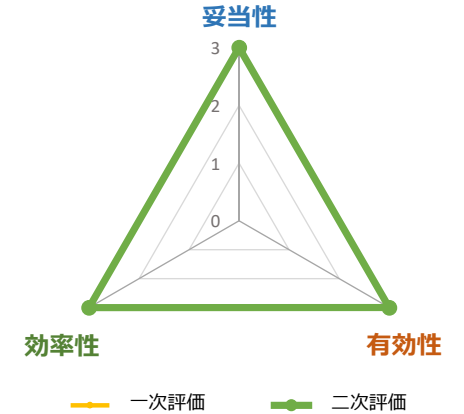
【観点別評価】

観点	妥当性	有効性	効率性
一次評価	3	3	3
二次評価	3	3	3

【観点別評価に対するコメント】

妥当性	市の関与または実施主体についても妥当である。
有効性	成果指標について効果が見られ、また上位施策が掲げる子育て支援体制の充実に大きく寄与している。
効率性	コスト全体に占める市の負担も適正であり、運営委託の方法についても効率的である。

【観点別評価の一次・二次評価結果】



【事業の方向性に対する総合評価の目安】

事業の方向性	拡充			A,B	A	A,C
	維持			B,C	B	C
	縮小			B,C	C	C,D
	休廃止		D			
	完了	D				
		完了	皆減	縮小	維持	拡大

コスト投入の方向性

【成果・コストからみる事業の方向性】

成果	拡充	維持	縮小	休廃止	完了
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コスト	拡大	維持	縮小	皆減	完了
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事業の方向性に対する総合評価

B

【事業の方向性に対する総合評価の基準】

A【拡充】	成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡充・充実すべきもの
B【維持】	事業の対象・目標・内容等が適切で、事業の実施を維持すべきもの
C【要改善】	事業の対象・目標・内容等が適切でなく、見直し(縮小)の必要があるもの
D【完了または廃止】	事業完了または事業の廃止を検討するもの

【全体をととしての評価と今後の事務事業の方向性】

子育て世帯の不安感などを解消し、安心して子育てができるまちづくりを推進するために子育て支援センターは大きな役割を担っています。引き続き、子どもや子育て世帯に寄り添った取組を続けるとともに、活動の周知や保護者が利用しやすい環境づくりに努めていただくことを期待します。